積分形普通騒音計
KEW 5800

取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお守りください

本章は、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。ご使用の前にこの取扱説明書と付属書類等を必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。
お読みになった後は、必ずお手元に置き、常に参照できるようにしてください。

1．本書に使われている表示の意味

⚠警　告
取扱を誤った場合に、死亡又は重傷を負う危険な状態が生じる可能性が想定される内容を示しています。

⚠注　意
取扱を誤った場合に、重傷を負うかまたは物損損害の発生が予想される内容を示しています。

2．安全上のご注意

⚠警　告	
煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源スイッチを切り、AC アダプタを使用の場合はコンセントから抜き、当社 またはお買い求めいただいた当社契約代理店にご相談ください。 お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。	
分解や改造はしないでください けがや感電・火災の原因となります。	
オプションの AC アダプタ AC-1046 以外は使用しないでください。 指定外の AC アダプタを使うと、感電・火災の原因となります。	
AC アダプタ AC-1046 はぬれた手で電源プラグを抜差ししないでください。 感電の原因となります。	
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、AC アダプタを使用の場合はコンセントから抜き、巻末の弊社営業所またはお買い求めいただいた当社代理店にご相談ください。	

3. 使用上のご注意

積分形普通騒音計は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

⚠注　意	
小さなお子様の手の届く所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。	
不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。	
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。	
本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 倒れたり、壊れたりしてけがをする危険があります。	
各種ケーブルは取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 線を誤ると、火災の危険があります。	
積分形普通騒音計本体を移動する場合は、電源を切り、すべての配線を外したことを確認してから行なってください。	
他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。 落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。	

ご使用の前に

1．概　要

　環境騒音測定に適した、騒音レベルLp､等価騒音レベルLeq、Ｃ特性ピークレベルLcpeak（Ｃ特性時の入力信号の波高の最大値)、騒音レベル最大値Lmaxの機能を搭載した積分型騒音計です。測定したデータの保存が可能でRS-232Cインターフェースを標準装備。測定結果はバーグラフと数値で表示します。

2．特　長

●小型・ローコストでクラス初めて計量法JIS・IECに適合。
●胸ポケットに入れて持ち運べる最薄･最小･最軽量の超小型デザインを実現。家庭･学校･研究所・工場・野外などでの測定が可能です。
●画面を見ながらカーソルで操作が可能。
●等価騒音レベルLeqの測定が可能。
●労働衛生上で必要な環境騒音測定が可能。
●バックライト付液晶モニター。
●メモリー機能（128データの保存)。
●お手持ちのパソコンに接続でき、データ管理・加工が簡単です。
（データ管理ソフトはオプション）

3．付属品

⑴ マイクロホン	MODEL8317	本体組み込み
⑵ 防風スクリーン（φ50）	MODEL8318	１個
⑶ 単4形アルカリ乾電池		２本
⑷ ハンドストラップ		１本
⑸ 取扱説明書		１部

4．オプション

・ACアダプタ	MODEL8318
・三脚ホルダー	MODEL8314
・データ管理ソフト（接続ケーブル付属）	MODEL8315

目　次

第１章

第２章　基本操作

第３章　測定操作

第４章　メニュー操作

第５章　ＡＣ、ＤＣ出力

第１章　準備

１．各部名称

⚠注　意

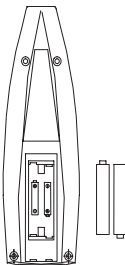
- マイクロホン及びプリアンプは、必要なとき以外は絶対に外さないでください。破損の原因になります。
- 積分形騒音計 KEW5800は、絶対に落下したり衝撃や振動を与えたりしないでください。破損・故障の原因になります。
- 積分形騒音計 KEW5800本体を手で持つ時は、落下防止の為にハンドストラップに手を通してください。
- 積分形騒音計 KEW5800を使用する時は、防風スクリーンをマイクロホンに装着してください。

２．電池交換

　液晶画面表示部のバッテリー残量表示で電池の容量が少なくなりましたら以下の手順で電池を交換してください。
長く計測することが予想される場合は、予め新しいアルカリ単４電池に交換してください。
バッテリーの残量表示は以下の様に５段階のようになります。

電池交換手順
　１）本体が動作している場合には[Power]スイッチを押して電源を切ってください。
　２）背面の電池蓋のくぼみを押しながら下方向にスライドします。
　３）単４乾電池２本を電池ケース内の極性に合わせて入れ、電池蓋を閉じます。

⚠注　意

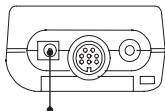
・電池の極性を間違えないようにしてください。
・交換するときは、必ず２本一度に交換するようにしてください。
・電池を取り外したり電池が切れた場合は、再度＜日付・時間＞を設定してください。
・電池交換後、正常に動作しないときは電池を取り出し、90秒以上たってから、再度入れなおしてください。

⚠注　意

本製品は、メモリー保持のため電源がＯＦＦの状態でも僅かに電流が流れる設計になっています。（電池を入れたままで保管すると約４ヶ月で消耗します）
1週間以上お使いにならない際には、データを記録されたあと、電池の消耗を防ぐために、電池を外し保存していただきますよう、お願いします。
また、使用される電池は必ずアルカリ電池をご使用ください。

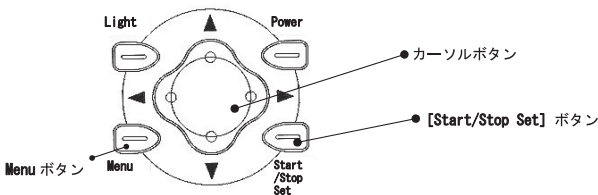
連続使用時間
・アルカリ電池　　　約７時間
・マンガン電池　　　約２時間
・電池の寿命は、使用する環境や、メーカーによって違います。また、液晶画面のバックライトを使用すると連続使用時間は短くなります。

３．ＡＣアダプタの接続（オプション）

１）本体が動作している場合には[Power]スイッチを押して電源を切ってください。
２）オプションのＡＣアダプタをＡＣアダプタ端子に接続します。
３）ＡＣアダプタのＡＣプラグをＡＣ100Vコンセントに差し込みます。

⚠注　意
専用のＡＣアダプタ以外は使用しないで下さい。故障の原因になります。

ＡＣアダプタ端子

４．液晶画面調整

電池が消耗した場合など、液晶の表示が薄くなったり又電池を交換した直後など液晶のコントラスト(濃淡)を調整する場合、以下の手順で操作します。

１）[Menu]ボタンを３回入力すると以下のメニュー画面になります。

２）カーソルボタン▼でLCD contを選択し▶ボタンで右の項目にカーソルを移動します。

３）▲▼ボタンで液晶画面のコントラストを調整し[Start/Stop Set]ボタンで登録します。
[Start/Stop Set]ボタンを押すとカーソルが項目に移動します。

４）計測の画面に戻る場合は、[Menu]ボタンを1回押します。

5．カレンダー調整

本体に内蔵されたカレンダー (時間)を調整する場合、以下の手順で操作します。
[Menu]ボタンを押してメニュー画面にします。

【日付を変更する場合】

1）カーソルボタン▼で Date を選択しボタン▶で右の項目にカーソルを移動します。

2）▲▼◀▶ボタンで年、月、日付の順に入力し[Start/Stop Set]ボタンで登録します。
[Start/Stop Set]ボタンを押すとカーソルが項目に移動します。

3）計測の画面に戻る場合は、[Menu]ボタン３回押します。

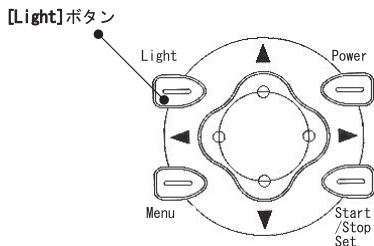
【時間を変更する場合】

1）カーソルボタン▼で Time を選択し▶ボタンで右の項目にカーソルを移動します。

2）▲▼ボタンで時間、分、秒の順に入力し[Start/Stop Set]ボタンで登録します。
[Start/Stop Set]ボタンを入力するとカーソルが項目に移動します。

3）計測の画面に戻る場合は、[Menu]ボタン３回押します。

６．液晶画面バックライトの使い方

暗い場所や、夜間など表示部が読みにくい場合は、液晶画面のバックライトを点灯して読みとることができます。

[Light]ボタンを押すと、液晶画面の上部より点灯します。

・点灯　　[Light]を押します。
・消灯　　再度[Light]を押します。

点灯状態のままでも、約30秒で自動的に消灯します。
電池が消耗してくるとバックライトが暗くなります。

⚠注　意

点灯すると、電池の消耗が早くなりますので注意してください。

第２章　基本操作

１．画面表示

１－１ 起動画面

[Power]ボタンを1秒以上長押しします。電源投入直後は、以下の画面表示となります。

１－２ 標準（計測）画面表示

10m　99h66m60s
92.5 dB
60　130
Rec　A　Fast　Leq

計測時間表示・・・・[Menu]画面 2/3 の Meas Time で設定された時間を表示します。

計測の経過時間表示
[Start/Stop]ボタン入力で計測時間までのカウントを行います。

表示データ：現在の値をデジタル値で表示します。

バッテリー残量表示

バー表示：現在の瞬時値をバーで表示します。

レンジ表示：30ー100 及び 60ー130dB

Leq：計測モード表示
計測モードボタンで設定されたモード(Lp, Leq, Lmax)

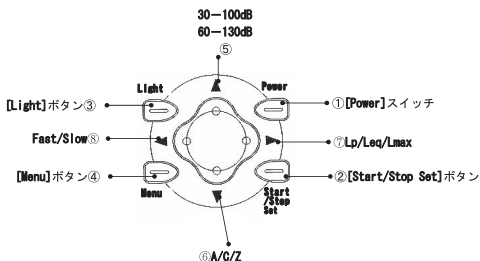
Fast：動特性表示
動特性ボタンで設定された動特性を表示します。(Fast 又は,Slow)

A：周波数補正表示
周波数補正ボタンで設定された周波数補正を表示します。(A, C, Z)

Ov:オーバーロード表示
計測値がレンジを超えた場合表示します。レンジより小さい値の時は、Un:アンダーロードが表示されます。

[Start/Stop] ボタンで Rec：動作業態表示
Rec 点滅：[Start/Stop]ボタン入力で計測状態
Stp　　：停止状態

・表示データは、動特性や、周波数補正された値を、約１秒間隔で表示します。
・バー表示は、表示データの値を約 0.1 秒間隔で表示します。

2．パネルボタンの操作と機能一覧

①[Power]スイッチ
　１秒以上長押しすると電源が入ります。再度押すと、すぐ電源が切れます。
②[Start/Stop Set]ボタン
　[Start/Stop]：測定を開始又は、停止する場合に押します。停止する場合は1秒以上ボタンを長押します。
　[Set]　　　：メニュー画面操作時の設定ボタンです。
③[Light]ボタン
　暗い場所や、夜間など表示部が読みにくい場合は、液晶画面のバックライトを点灯して読みとることができます。
　再度ボタンを押すと消灯。点灯状態のままでも、約30秒で自動的に消灯します。
④[Menu]ボタン
　測定条件を設定する場合に押します。4回押すと標準画面に戻ります。
⑤▲：レンジ切替ボタン
　30～100dB、60～130dBのどちらかのレンジを選択します。
⑥▼：周波数補正ボタン
　周波数補正（A, C, Z）を選択します。
　・A特性：人間の聴覚に近い周波数の特性を持っています。
　　　　　低・高周波領域で感度が鈍くなる特性を持っています。
　・C特性：比較的平坦な周波数特性を持っています。
　　　　　C特性で測定した値は音圧レベルに相当します。
　・Z特性：C特性よりさらに平坦な周波数特性を持っています。(補正なし)
⑦▶：計測モードボタン
　Lp　：騒音レベル、Leq：等価騒音レベル、Lmax：時間内最大騒音レベルを選択します。
　・Lp　：音圧を人の耳の感度に表示値を近づけるために聴感補正した値。
　・Leq　：一定時間内に測定された変動する複数の騒音データをエネルギー量で平均して求めたもの。
　・Lmax：一定時間内に測定された最大の騒音レベル。
⑧◀：動特性ボタン
　動特性のFast、Slowを選択します。
　・Fast：早い動特性。人間の耳の時間応答に近似されたものを計測します。
　・Slow：遅い動特性。変動する騒音の平均レベルを計測します。
　指示値は、Fastでは速く、Slowでは遅く動きます。

3．校　　正

発振器による校正（外部機器接続時）

本器には発振器、周波数：250Hz、AC：500mVrms（DCオフセット）が内蔵されていますので外部機器を接続時に校正することができます。

<Menu>	1/3
Meas	: CAL
Intr	: Repeat
I/O	: OFF
Date	: 00/01/01
Time	: 00:00:00

[Menu]ボタンを1回押し＜Menu＞ 1/3を表示させます。

▶ボタンを押しCALを設定します。

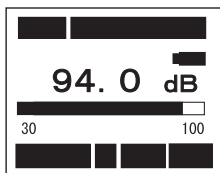
例　Meas ： CAL　←▲▼で変更

▼▲ボタンで設定し、[Start/Stop Set]ボタンで登録します。

・[Menu]ボタンを３回押して標準画面表示に戻ります。

・正常時は左図のように校正画面に94dB又は124.0dBが表示されます。レンジ切替ボタン：▲で、30～100dB、60～130dBのどちらかのレンジを選択できます。

＜校正画面＞

RANGE 30～100dB 時

RANGE 60～130dB 時

ＡＣ／ＤＣ出力端子

・AC/DC出力端子より

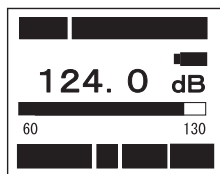
　周波数：250Hz（サイン波）

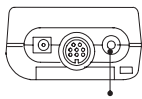
　電　圧：AC 500mVrms（DCオフセット）

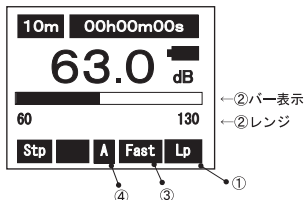
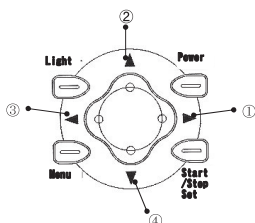
の波形が出力されます。

RANGE 30–100dB時 94.0dB相当

RANGE 60–130dB時 124.0dB相当

※校正は測定時に使用するRANGEにて、校正を行ってください。測定途中でRANGE変更すると30dB測定値が変わりますので、再度校正を行ってください。

⚠注　意

94dB、124.0 dBの校正画面が表示されない場合は修理点検へお願いいたします。

第３章　測定操作

１．騒音レベル(Lp)の測定（A特性の音圧レベル）

- 画面は、騒音レベルを表示しています。
- 現在値を、１秒毎のデジタル値と、０．１秒毎のバーで表示します。
- 特に[Start/Stop]ボタン等を押すことなく計測できます。

＜操作＞

①計測モード（▶）：騒音レベル測定　Lpに設定します。

Stp		A	Fast	Lp

↑—Lp になるように、計測測定モードボタンを操作します。

②レンジ（▲）　　　：バー表示が中央付近を指示するようにレンジを選択します。
[Ov]（オーバーロード）が表示される場合は、▲ボタンを押して現在のレンジより大きなレンジ（60～130dB）で測定します。
③動特性（◀）　　　：Fast又はSlow
④周波数補正（▼）　：A

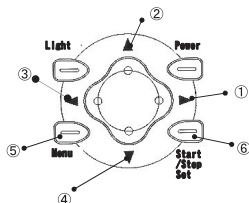
注）オートパワーオフが設定されていると、1分後に自動的に電源が切れます。(下記参照)

・オートパワーオフの設定

[Menu]ボタンを３回押し AutoPwrOff にカーソルを移します。
▶ボタンを押し、OFF にカーソルを移動し▲を押し ON に[Set]ボタンで登録します。

<Menu>	3/3
output	: AC
AutoPwrOff	: ON
LCD cont	: *
Baud rate	:9600

２．等価騒音レベル(Leq)の測定（A特性の等価音圧レベル）

＜操作＞　ボタン操作は、1.騒音レベル（Lp）の測定に同じです。

①計測モード（▶）：等価騒音レベル測定　Leq を選択します。

Stp		A	Fast	Leq

Leq になるように、（▶）ボタンを何度か押します。

②レンジ（▲）：バー表示が中央付近を指示するようにレンジを選択します。

[Ov]（ｵｰﾊﾞｰﾛｰﾄﾞ）が表示される場合は、現在のレンジより大きなレンジで測定します。

③　動特性（◀）　　　：Fast 又は Slow を選択します。

④　周波数補正（▼）　：A を選択します。

⑤　計測時間　　　　　：[Menu]ボタンで操作します。

１０秒、１、５、１０、１５、３０分

１、８、１２、２４時間

<Menu>		2/3
Range	: 130dB	
Dyn char	: FAST	
Freq corr	: A	
Meas Time	: 10m	
View	: Lp	

<Menu>		3/3
output	: AC	
AutoPwrOff	: OFF	
LCD cont	: *	
baud rate	: 9600	

（計測時間 free は、測定開始後[Start/Stop]ボタンを押すまでの間、測定されます。
測定開始後[Start/Stop]ボタンを押さない時は、199 時間 59 分 59 秒まで測定されます。）

[Menu]ボタンを 2 回押し<Menu> 2/3 を表示させます。
▼ボタンで Meas Time まで移動させます。
▶ボタンを押し時間を設定します。
　例　Meas Time ： 1m　　←▲▼で変更
▼▲ボタンで設定し、[Start/Stop Set]ボタンで登録します。
・[Menu]ボタンを押して標準画面表示に戻ります。

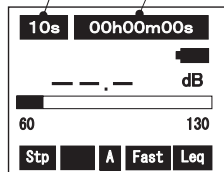
⑥計測開始　：[Start/Stop]ボタンを押す事で計測を開始します。
　計測終了　：[Menu]項目のIntr ＝ Repeat時
　　　　　　　・計測時間毎にメモリーに記録されるため、[Start/Stop]ボタンで終了
　　　　　　　・メモリーＦＵＬＬ(128回)で自動終了
[Menu]項目のIntr ＝ Single時
　　　　　　　・計測時間経過後自動的に終了
　　　　　　　・[Start/Stop]ボタン入力で終了（1秒以上長押しします）
※計測中の注意事項：計測中には▶ボタンで測定モードを変える以外は操作が効きません。
　　　　　　　・計測中操作効かないもの
　　　　　　　レンジ切替（▲）、動特性切替（▶）、周波数補正切替（▼）
　　　　　　　[Menu]ボタン

注）オートパワーオフが設定されていても電源はきれません。
P.16 Menu画面説明（3/3）の**AutoPwrOff（オートパワーオフ）の設定**をご覧ください。

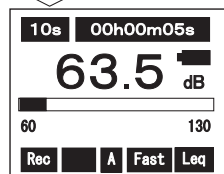
＜表示＞

計測時間：[Menu]で登録されてる、計測時間を表示しています。
（free が登録されている時は、***が表示されます。）

計測時間のタイムカウント表示
[Start/Stop]ボタン入力で計測時間まで、タイムカウント動作を行います。

10s 00h00m00s
— —.— dB
60 130
Stp A Fast Leq

計測時間１０s（秒）の時の表示内容
００ｈ００ｍ００ｓ
００ｈ００ｍ０１ｓ
００ｈ００ｍ０２ｓ
・
・
００ｈ００ｍ０９ｓ　←　１０秒終了
００ｈ００ｍ００ｓ　←　次の計測
＊一回のみ計測の時は、１０秒終了表示のまま

[Start/Stop Set]ボタン入力します。

10s 00h00m05s
63.5 dB
60 130
Rec A Fast Leq

← カウントアップします。

← 測定モードが Leq、Lmax の時は、初回の計測が
終了するまで、— —. —の値で表示されます。

← バー表示は現在値を、０．１秒毎に表示します。

← Lp と Lmax は変更可能
Lp にすると現在値を表示する。

↑
Rec 表示が点滅する

＜再度[Start/Stop]ボタンを押す（1 秒以上長押し）と Stp と表示され停止します。＞

[Menu]項目のIntr ＝ Repeat時は、計測時間毎に繰り返し計測動作となります。
計測時間＊＊＊の場合、[Start/Stop]ボタンが入力された時点又は199時間経過後に計算されます。

３．等価騒音レベルの測定（A特性以外の等価騒音レベル）

周波数補正　C又はZに設定した場合の測定モードLeqです。

C 又は、Z を選択します。

他の操作は、２.等価騒音レベル（Leq）の測定をご覧ください。

４．時間内最大騒音レベルの測定（A特性のLmax）

＜操作＞　ボタン操作は、2.等価騒音レベル（Leq）の測定をご覧ください。

１）計測モード（▶）：最大音圧レベル測定　Lmaxに設定します。

Stp		A	Fast	Lmax

↑ **Lmax** になるように、測定モードボタンを操作します。

その他の操作は、等価騒音レベル（**Leq**）の測定に同じです。

＜表示＞　LeqがLmax表示に変更される以外等価騒音レベル（Leq）の測定に同じです。

５．時間内最大音圧レベルの測定（A特性以外のLmax）

操作／表示とも、周波数補正C又はZとなる以外4.時間内最大騒音レベルの測定と同じです。

６．ピーク(Peak)の測定（Cピーク特性の測定）

＜操作＞

１）[Menu]画面で、Meas：　Peakに設定します。

Stp		A	Fast	Peak

↑ **Peak** 表示に固定されます。

（周波数補正ボタン（▶）では変更できません）

Cピーク特性：瞬間的な衝動音を計測する場合に使用します。特性の規格につきましては IEC 61672−2 に従いヨーロッパへ精密機器を輸出する場合はCピーク特性の測定が必要とされます。

２）その他のボタン操作、設定は**2. 等価騒音レベルの（Leq）測定**と同じです。

周波数補正Cの場合、特にCピーク特性となります。

＜表示＞　LeqがPeak表示に変更される以外等価騒音レベル（Leq）の測定と同じです。

7．メモリーデータ表示

＜操作＞

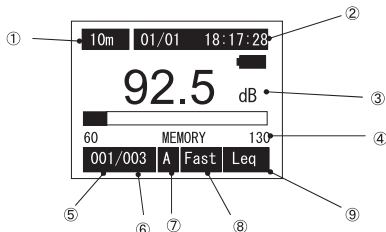
等価騒音レベル(LeqとLmax)の測定で記録したデータを呼び出します。

[Menu]ボタンを押し < Menu > 1/3を表示させ、MeasをMem Callに設定します。

例　Meas：Mem Call　　←▲▼で変更

[Start/Stop Set]ボタンで登録します。

[Menu]ボタンを３回押して計測画面に戻します。

＜画面＞

①計測時間　：計測したサンプリング時間を表示
②カレンダー　：計測開始時間表示
③データ　：同　データ表示
④レンジ　：同　レンジ表示
　通常計測と区別するために　"MEMORY"が点滅します。
⑤データ　：表示データの番号（先頭から）表示・・何番目か
　(Single時は最後に計測した１回のみ表示）
⑥データMAX　：取得データの最大数を表示
　最大で128個データは記録できます。
　再度、［Start/Stop］ボタンで計測を始めると前のデータは全て消去されます。
⑦データ内容　：記録動特性　A ／ C ／ Z
⑧データ内容　：時定数　Fast ／ Slow
⑨データ内容　：モード　Leq ／ Lmax

カーソル▲▼ボタンでデータを選択します。長くカーソルを押すと早く切り替わります。

001/003　A　FAST　Leq　　← １／３個目のデータ

↓　▲ボタンですすむ

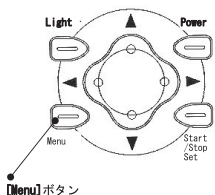
002/003　A　FAST　Leq　　← ２／３個目のデータ

↓　▼ボタンでもどる

001/003　A　FAST　Leq　　← １／３個目のデータ

注　意：長時間使用しない場合は電池は必ず取り外してください。
電池の腐食により接触不良の原因になります。
本体にEMPTY表示が出たら電池を交換してください。

第４章　メニュー操作

１．メニュー操作方法

[Menu]ボタン入力で以下のメニュー表示画面となります。

[Menu 1/3] → [Menu 2/3] → [Menu 3/3] → 計測画面 → [Menu 1/3] →・・・

＜入力方法＞

カーソルキー▲▼で項目を選択し▶ボタンで入力開始、▲ボタンで変更し[Set]ボタンで登録します。

```
<Menu>                  1/3
Meas            : Manu
Intr            : Repeat
I/O             : OFF
Date            : 00/01/01
Time            : 00:00:00
```

カレンダーや時間等の基本的な設定の画面です。

```
<Menu>                  2/3
Range           : 130dB
Dyn char        : FAST
Freq corr       : A
Meas Time       : 10m
View            : Lp
```

計測モード等、計測に必要な設定の画面です。

```
<Menu>                  3/3
output          : AC
AutoPwrOff      : ON
LCD cont        : *
baud rate       : 9600
```

液晶画面コントラスト等計測に必要な設定の画面です。

2．Menu画面説明(1/3)

```
<Menu>                1/3
Meas         : Manu
Intr         : Repeat
I/O          : OFF
Date         : 00/01/01
Time         : 00:00:00
```

メニュー項目とページの表示

項　目	初期値	内　容	
●Meas	：Manu	：Manu	：通常計測
		Peak	：ピーク計測
		Mem Call	：記録データ表示
		CAL	：校正モード 250Hz,500mVのサイン波をAC/DC出力端子より出力します。
●Intr	：Repeat	：計測間隔設定	
		Repeat	：[Start/Stop]ボタン入力でMeas Time毎に計測(連続)。
		Single	：[Start/Stop]ボタン入力でMeas Timeで終了(1回)。 [Set]ボタン入力で終了。
● I/O	：OFF	：外部機器接続設定	
		OFF	：外部機器を接続しない。
		Printer	：プリンター接続
		PC	：パソコン接続
● Date	：00/01/01	：カレンダー設定(日付2000/01/01) 詳細は、カレンダー調整の項参照願います。	
● Time	：00:00:00	：時間設定 詳細は、カレンダー調整の項参照願います。	

3．Menu画面説明(2/3)

```
<Menu>                2/3
Range          : 130dB
Dyn char       : FAST
Freq corr      : A
Meas Time      : 10m
View           : Lp
```

項　目	初期値	内　容
● Range	：130dB	：[Range]ボタンで入力されたレンジが記録されます。 130dB、100dB
● Dyn char	：FAST	：動特性ボタンで入力された、動特性が記録されます。 FAST 又はSLOW
● Freq corr	：A	：周波数補正ボタンで入力された、周波数補正が記録されます。 A、C、Z
● Meas Time	：10m	：等価騒音レベルの、計測時間を登録します。 ここで登録された、時間で計測が行われます。
● View	：Lｐ	：画面表示モード登録 Lp、Leq、Lmax

４．Menu画面説明(3/3)

```
<Menu>                3/3
output          : AC
AutoPwrOff      : ON
LCD cont        : *
baud rate       : 9600
```

項　目	初期値	内　容
●output	：AC	：信号出力の切り替え AC：AC/DC出力端子よりAC信号が出力されます。 DC：AC/DC出力端子よりDC信号が出力されます。
●AutoPwrOff	：OFF	：自動電源OFF　操作の無い場合のON・OFF時間設定 ：[Power]ボタンを押すまで切れません。
	：ON	：１分後に電源OFF [Start]ボタンを押されたら機能しません。 計測終了後は、上記と同じく１分後に電源OFF
● LCD cont	：*	：液晶画面のコントラスト調整を行います 詳細は、液晶画面調整の項参照願います。
● baud rate	：9600	：パソコンとに通信速度を設定します。 9600にしてください。

・操作で変更設定された場合そのつど変更されます。
・この画面でレンジ等を変更することもできます。

第５章　AC、DC出力

[Menu]画面 3/3 Outputで選択された、AC及びDC信号が、AC/DC出力端子より出力されます。

１．AC出力

周波数補正された交流信号が以下の内容で出力されます。
出力電圧；約1Vrms(FS)、出力抵抗；約600Ω、負荷抵抗；100kΩ以上

２．DC出力

周波数補正後、実効値検波され対数圧縮された直流電圧が出力されます。
出力電圧；約2.5V(FS)、0.25V/10dB、出力抵抗；約600Ω、負荷抵抗；100kΩ以上

第６章 パソコン出力

本器は、計測したデータをパソコンへ出力する機能をもっています。
（※オプションのデータ管理ソフトが必要です）

<Menu>		1/3
Meas	: Manu	
Intr	: Repeat	
I/O	: OFF	
Date	: 00/01/01	
Time	: 00:00:00	

＜操作＞

１）電源を[OFF]の状態で、パソコンを接続し電源を投入します。
２）[Menu]画面で▼ボタンでI/Oを選択し、▶ボタンを入力　カーソルが右項目に入ります。
３）カーソル▲▼ボタンでPC選択し、[Set]ボタンを入力すると以下の画面となります。

４）[Start/Stop]ボタンを入力すると記録されているデータを全てパソコンへ転送します。
５）パソコンへデータ送信が終了すると自動的に[Menu]画面に戻ります。

第７章　仕様

１．型式承認　第SLS041号
２．適応規格　計量法　普通騒音計
JIS C 1502:1990
IEC 606651:1979　60804:2000 TYPE II
IEC/CDV 61672-1 CLASS2
３．測定機能　瞬時値　Lp
等価騒音レベル　Leq　Lmax、Lcピーク
測定時間　10秒、1、5、10、15、30分
1、8、12、24時間
手動　最長測定時間；199時間59分59秒
４．測定レベル　A特性　30 ～ 130dB
C特性　36 ～ 130dB
Z特性　46 ～ 130dB
５．自己雑音レベル　A特性　24dB以下
C特性　30dB以下
Z特性　40dB以下
６．リニアリティーレンジ　75dB以上
７．レンジ　60 ～ 130dB
30 ～ 100dB
８．周波数範囲　20 ～ 8000Hz
９．マイクロホン　7052NB（1/2インチエレクトレットコンデンサマイクロホン）
10.　周波数補正回路　A特性、C特性　及びZ特性
11.　実効値検出回路　真の実効値検出回路（デジタル演算方式）
12.　動特性　Fast(125ms)，Slow(1s)
13.　サンプリング周期　41kHz(24μs)
14.　演算　デジタル方式
15.　内蔵メモリー　瞬時値又は演算値をメモリーに記憶
データ量　4kByte
16.　表示器　バックライト付液晶表示器
数値表示：4桁表示
表示周期：1秒
バー表示　表示周期：0.1秒
警告　Ｏｖｅｒ　：過負荷スケール上限より表示
Ｕｎｄｅｒ：過小信号スケール下限よりで表示
電池電圧：残量4段階表示
17.　出力　交流出力：AC/DC出力端子
出力電圧：約1Vrms(FS)
出力抵抗：約600Ω
負荷抵抗：100kΩ以上
直流出力：AC/DC出力端子ジャック
出力電圧：約2.5V(FS)、0.25V/10dB
出力抵抗：約600Ω
負荷抵抗：100KΩ以上
18.　ＩＯ端子　コンピューターによる騒音計の制御とデータ出力
インターフェース　：RS-232C（非同期）
データ長　：8ビット
ストップビット　：2ビット
パリティー　：無し
通信速度　：4800、9600、19200
19.　電源　単4形アルカリ乾電池　2本又はＡＣアダプター
電池寿命：約7時間（単4形アルカリ乾電池使用時）
20.　使用温度範囲　-10 ～ 50℃　30％～ 90％ RH（結露しないこと）
21.　本体寸法・重量　168(H)×48(W)×23.5(D)、約125ｇ（電池含む）

第８章　アフターサービス

１．保証書について

　本製品には保証書が付いていますので、保障期間中の故障については保証規定をお読みになり、ご利用ください。保証書には、販売店名・購入日が必要となりますので記入の確認をお願いします。記入の無い場合、保証期間中であってもサービスが受けられない場合があります。

　ご購入の際には必ず販売店に記入を依頼し、大切に保管してください。

　保証期間は、ご購入日より1ヶ年間です。

２．修理を依頼されるときには

　お手数でも不具合の内容・お名前・ご住所・ご連絡先をご記入の上、本体が損傷しないように梱包し、弊社サービスセンターまたは、巻末の事業所および販売店までご送付ください。

３．校正周期について

　本製品を正しくご使用いただくため、１年間に１回は定期的に校正することをお勧めいたします。弊社サービスセンターにお申し付けください。

４．補修用部品の保有期間

　この測定器の機能・性能を維持するために必要な補修用部品を製造打ち切り後、５年間保有しています。

●修理のご依頼について●

電池の消耗・測定コードの断線を確認してから、輸送中に破損しないように十分な梱包を施して、下記サービスセンターまたは販売店までお送りください。

〒797-0045　愛媛県西予市宇和町坂戸480
共立電気計器株式会社　サービスセンター
TEL0894-62-1172　FAX0894-62-5531

　この説明書に記載されている事項を断り無く変更することがありますのでご了承ください。

保　証　規　定

保証期間中に生じました故障は、以下の場合を除き無償で修理をいたします。

1．取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用方法、保管方法が原因で生じた故障。
2．お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障。
3．弊社のサービス担当者以外の改造、修理、オーバーホールが原因で生じた故障。
4．火災、地震、水害、公害およびその他の天変地異が原因で生じた故障。
5．傷など外観上の変化。
6．その他弊社の責任とみなされない故障。
7．電池など消耗品の交換、補充。
8．保証書のご提出がない場合。

◎ご注意

弊社で故障状態の確認をさせていただき、上記に該当する場合は有償とさせていただきます。
輸送途中に損傷が生じないように梱包を施し、弊社サービスセンターまたは販売店宛にお送りください。

年　月　日	修　理　内　容	担　当　者

保証書

KEW 5800	製造番号
保証期間　ご購入日（　　　年　　　月　　　日）より１カ年間	

共立製品をお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に通常のお取扱いで万一故障が生じた場合は、裏面の保証規定により無償で修理いたします。
本書を添付の上ご依頼ください。

お名前

ご住所　〒

お電話番号（　　　　）－（　　　　）－（　　　　）

◎保証規定をよくお読みください。
◎本保証書は日本国内でのみ有効です。
◎本保証の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

販売店名

共立電気計器株式会社

本社 東京営業所	〒152-0031 東京都目黒区中根 2-5-20 ☎03(3723)7021 FAX. 03(3723)0139
大阪営業所	〒564-0062 吹田市垂水町 3-16-3 江坂三昌ビル 6F ☎06(6337)8648 FAX. 06(6337)8590
名古屋営業所	〒461-0004 名古屋市東区葵 1-12-1 オフィス布池 3F ☎052(939)2861 FAX. 052(939)2862
仙台営業所	〒983-0841 仙台市宮城野区原町 1-3-21-308号 ☎022(297)9671 FAX. 022(298)8009
工場	宇和島・愛媛
ホームページ	http://www.kew-ltd.co.jp